

福岡県米麦大豆生産改善速報 第3号

令和元年 7月 25日
福 岡 県
福岡県米麦品質改善協会

普通期水稻の生育概況と対策

1. 気象経過 [太宰府アメダス]

	7月12日～7月24日 (12日間)				
	平均気温	最高気温	最低気温	日照時間	降水量
	℃	℃	℃	hr	mm
本年	25.5	29.3	22.9	37.7	356.5
前年差(比)	-4.4	-6.5	-2.4	28	880
平年差(比)	-1.2	-1.9	-0.7	58	257

注) 平年は1981～2010年の太宰府アメダスの平均値。

2. 農林業総合試験場における生育概況

7月12日～7月24日の平均気温は平年より1.2℃低く、日照時間は42%少なく、降水量は157%多く、低温寡照多雨で経過した。7月25日現在における水稻の生育は、草丈は6月10日植の「夢つくし」では平年より9%短く、その他の品種は3～7%長かった。茎数は、筑後分場の「ヒノヒカリ」では平年より5%多かったが、その他の品種は、2～19%少なかった。主稈葉数は、「夢つくし」では、平年より0.4葉少なく、生育は遅れているが、その他の品種は平年より0.2～0.4葉多く、生育はやや進んでいる。

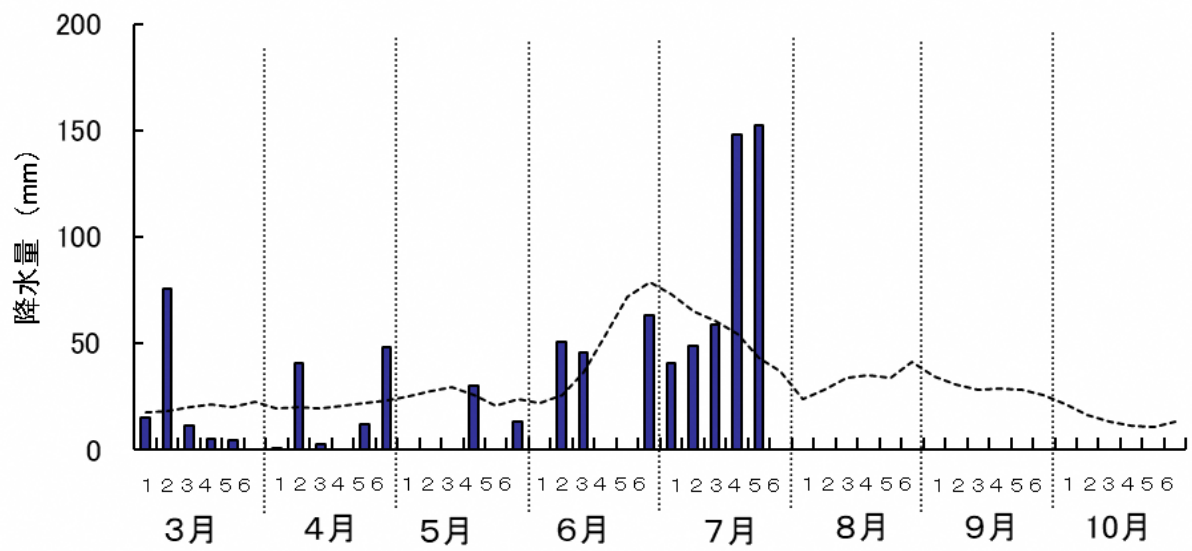
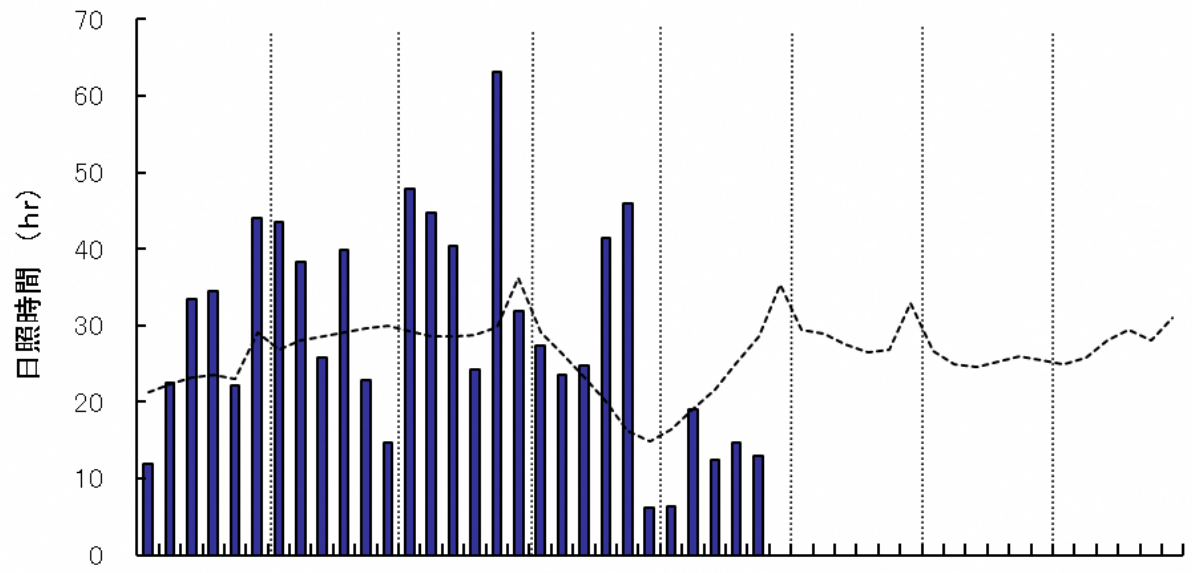
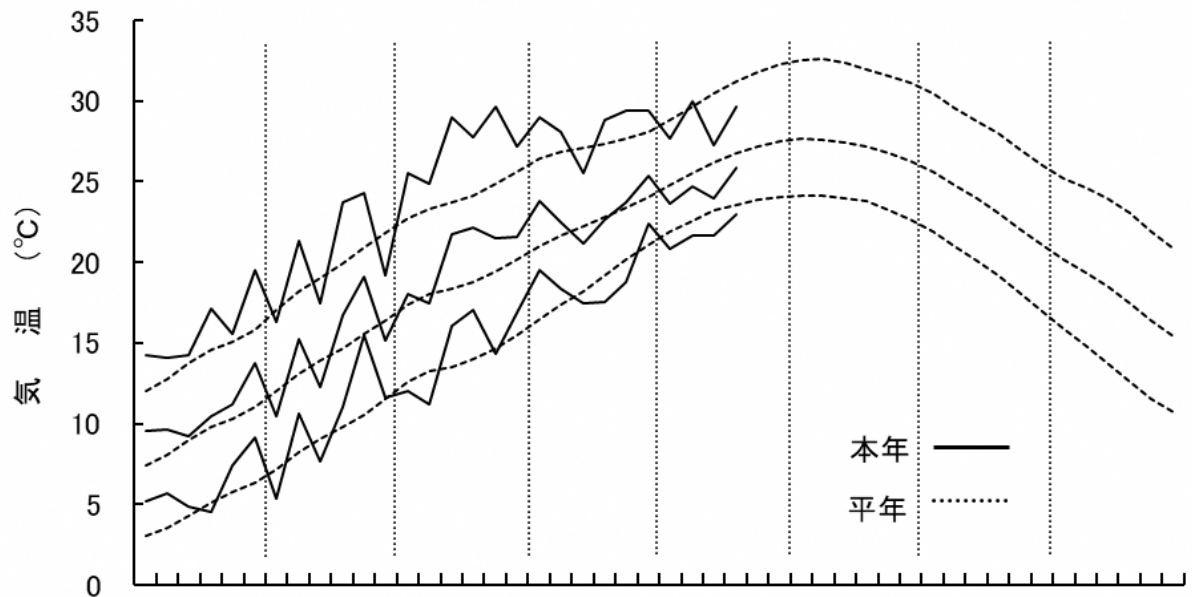
3. 当面の対策

- 1) 水 管 理 中晩生品種で中干しを実施していない場合は、有効茎が確保され次第、中干しを開始する。強い中干しは根を痛めるため、田面に小さい亀裂ができる程度とする。中干し終了後は間断かん水を行い、根の活力維持に努める。
- 2) 施 肥 出穂期は平年並み～やや遅いと予想されるため、穂肥は幼穂長や葉色を確認して適期に施用する。
- 3) 病害虫管理 いもち病、ウンカ等の対策は、予察情報を参考に適期に行う。カメムシ対策として、畦畔草刈りは出穂期10日前までに実施する。

4. 農林業総合試験場における調査成績

調査場所	移植期	品種	年次	7月12日			7月25日				
				草丈	m ² 当たり	主稈	草丈	m ² 当たり	主稈	カー	葉緑
				(cm)	茎数 (本)	葉数 (L)	(cm)	茎数 (本)	葉数 (L)	スケール	素計
農産部	6/8	夢つくし	本年	50.6	398	9.5	68.4	374	11.3	3.5	37.1
			前年比(差)	71	107	-1.0	91	98	-2.0	-0.5	0.0
			平年比(差)	80	88	-0.6	91	85	-0.4	-0.5	-1.9
	6/20	元気つくし	本年	40.1	312	8.3	67.9	372	10.5	3.9	42.5
			前年比(差)	92	106	-1.0	106	97	-0.5	+0.2	+6.1
			平年比(差)	87	100	0.0	103	88	+0.4	0.0	+3.1
ヒノヒカリ		本年	35.4	322	8.3	59.0	376	10.4	3.9	40.8	
		前年比(差)	93	106	-1.1	109	73	-0.7	+0.1	+3.8	
		平年比(差)	91	98	0.0	107	81	+0.3	-0.1	+1.1	
筑後分場	6/20	元気つくし	本年	38	310	7.7	72	478	10.8	4.2	44.5
			前年比(差)	90	85	-0.9	106	79	-0.3	+0.4	+5.8
			平年比(差)	82	77	-0.7	106	92	+0.3	+0.3	+4.5
		ヒノヒカリ	本年	35	411	8.0	64	621	10.6	4.4	45.2
			前年比(差)	95	96	-0.5	109	93	-0.6	+0.5	+5.9
			平年比(差)	89	97	-0.4	106	105	+0.2	+0.4	+4.2
	実りつくし	本年	40	323	7.6	71	569	10.5	4.2	43.7	
		前年比(差)	95	91	-0.8	109	94	-0.6	+0.4	+6.5	
		前4年比(差)	85	83	-0.8	105	98	-0.3	+0.3	+2.9	

注) ①平年値は過去10か年の平均値。
 ②この値は暫定値で、今後変更することがある。



2019年(令和元年)夏作期間の気象(太宰府アメダス)